



# あしべつ

# 市議会だより

2018年  
2月1日  
No. 6

芦別市議会ホームページ <http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/gikaijimu/gikai.html>



1月7日、芦別消防出初式が一番街通り、総合福祉センター駐車場等を会場として、消防職員、消防団員の総勢169人が参加し、分列式、開会式、式典が行われました。



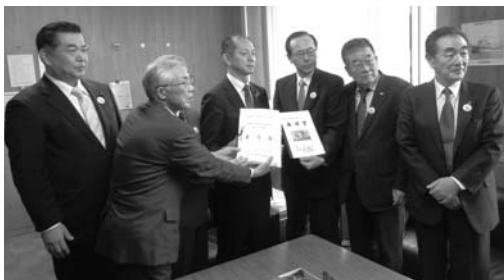
議長動静

芦別市議会議長

日沼 昇光

11月22日、荻原市長、商工会議所坂田会頭、吉井副会頭と共に国土交通省北海道局へ出向き、田村北海道局長ほかに対し一般国道452号の建設促進に係る面談要望を行ったほか、道内選出国會議員に対して要望書を提出しました。11月30日、荻原市長、荒当北海道議會議員、坂田芦別市北海道立林業学校設立・誘致期成会会長及び中川町内会連合会会長らと共に北海道庁を訪問し、「芦別市に北海道立林業学校の誘致を求める署名」6682名分及び「北海道立林業学校の誘致要請書（追加版）」を幡宮水産林務部長に提出しました。

本市に山積する地域課題の中で、とりわけ、北海道立林業学校の本市への誘致については、喫緊の課題の一つであり、道は3月までに設置場所の選定を目指していることから、本市のほか6地域で誘致活動が本格化しています。本市においては、他地域に先駆けていち早く誘致期成会を立ち上げ、官民一体となつて、さらには、多くの市民の方々の思いも加わつた、まさしくオール芦別での誘致活動を展開してきている経緯があるだけに、必ずや、この取り組みが成就してほしいと切に願わずにはられません。



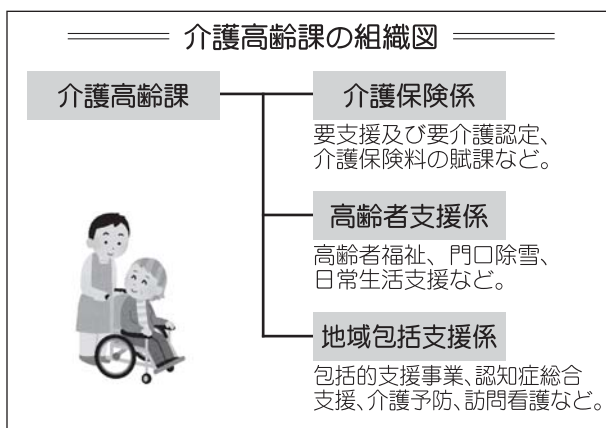
## 主な内容

- ◎特集・市役所の高齢者にかかわる窓口が一元化されました……………2
- ◎12月定例会一般質問……………3
- ◎12月定例会の議決結果……………7
- ◎スターライトホテルは、いま……………8

# 市役所の高齢者にかかわる窓口が一元化されました。

## 福祉課と介護保険課の再編

これまで高齢者にかかわる手続や相談・支援業務は福祉課と介護保険課でそれぞれ別々に対応していましたが、昨年7月から介護高齢課に一元化され、窓口は市役所庁舎に併設されている旧消防庁舎を改修し、10月に移転しました。また、保健福祉施設すばる内にあった地域包括支援センターも同じフロアへ移動し、これにより、高齢者福祉を所管する高齢者支援係と、介護認定や介護サービスの情報提供を所管する介護保険係とともに、地域包括支援センターが同一のフロアで執務することとなりました。利用者の視点に立った切れ目のない介護サービスの提供体制が構築され、ワンストップサービスとして市民の利便性が向上するものご期待しています。



### 地域包括支援センターとは

介護高齢課内に設置されている地域包括支援センターは、介護のサービスを利用したいけどどうしたらよいのか、寝たきりにならないように軽い運動を始めたいなど、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活できるように、保健・医療・福祉・介護の向上を図り、包括的に支援す

ることを目的として設置されました。保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャー等を配置し、各々の専門性を活かして、相互連携しながら、介護予防のための総合支援、要支援及び事業対象者の方への介護予防サービス等の利用をお手伝いします。

また、さまざまなご相談に応じる総合相談業務のほか、認知症に関する事業を展開し、認知症の方や介護にあたるご家族の支援を行っています。

高齢者のみなさんに関するさまざま

な相談を受

け付けていま

すので、まず

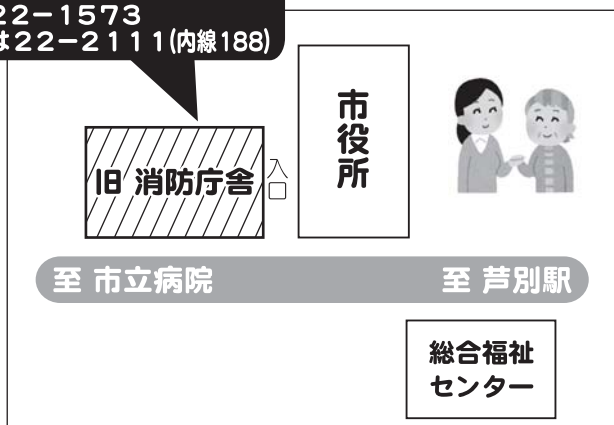
はご相談くだ

さい。



### 介護高齢課 地域包括支援センター

電話22-1573  
または22-2111(内線188)



## 12月定例会一般質問

### 政風会



樋坂 直紀 議員

#### 芦別市の防火について

##### 質問

防災訓練における地震を感知する感知ブレイカー、防災グッズの展示、使用方法の説明について伺う。

##### 答弁

感知ブレイカーや家具転倒防止金具などの防災グッズにつきましては、現在市では所有してないため、今後展示に協力いただける業者等がないか調査のうえ、展示に向けて取り組んでまいりたいと考えております。防災グッズの展示等につきましては、平成30年1月15日から21日まで内閣府が定めた「防災とボランティア週間」の取り組みの一環として市役所庁舎1階ロビー内に「暴風雪における車両の備え」のためのスコップ、寝袋等を1か月間程度展示し、防災意識の啓発を図るほか、必要に応じて展示等を考えております。

##### 質問

避難はしごの防災訓練における使用状況、小中学校における避難器具の設置状況及び町内会と合同での市営住宅の避難訓練について伺う。

##### 答弁

避難はしごを使用した防災訓練は実施してないところですが、また、市内の小中学校には救助袋が、市営住宅には3階建て以上の建物については、避難はしごを消防火に基づき設置してあります。避難訓練の実施につきましては、市営住宅では3階建て以上の住宅棟の入居者を対象に年一回訓練を実施しております。なお、高齢の入居者の訓練参加が多いことから、避難はしごを使用した避難方法の説明はしておりますが、転落する危険性も懸念されるため、非常階段を使用した訓練を実施しているところです。また、町内会と市営住宅を管理する市が合同による避難訓練は実施しておりませんが、今後必要に応じて町内会とも協議してまいります。

##### 質問

行方不明捜索に係る消防団、自衛隊の出勤について伺う。

##### 答弁

消防団につきましては、行方不明者の家族等から警察署に届出がなされ、警察署から

消防署に協力要請があった際、所轄分団を招集し、出勤させております。

自衛隊の出勤につきましては、市が警察署から自衛隊の出勤の要請を受けて空知総合振興局を通じて北海道知事が自衛隊に派遣を要請することとなっております。



### 政風会



北村 真 議員

#### 芦別市の観光振興について

##### 質問

平成28年第5回定例会で質問させていただいた観光における広域連携について、東空知観光周遊ルート創出推進協議会でのモデルコース構築の現状と、観光の広域連携の現状及び今後の展開について伺う。

##### 答弁

北海道観光振興機構の事業採択を受け、今年度で3年目となっている東空知観光周

遊ルート創出推進協議会では、香港、台湾、マレーシアなどからの個人旅行者をターゲットとし、昨年度は東空知地域の観光施設や名所などを紹介するパンフレットを作成しております。今年度はこれを活用したPRを進めつつ、さらに受け入れ環境の整備や改善を進めるため、8月7日～10日までの4日間、台湾から2名のプロガーと旅行代理店から1名招聘し現地視察ツアーを実施いたしました。視察により、各施設や外国語対応などに関する評価を受け、これらの改善を図りながら、一定の外国語対応が可能で、受け入れ環境が整っているところを中心に年度内にモデルコースを作成することとして協議を重ねております。なお、このコースが完成しましたら、旅行代理店に対して商品としての企画立案を依頼していくこととしております。広域連携に関しましては、現在、進んでいる東空知観光周遊ルート創出推進協議会での動きをはじめ、あさひかわ観光誘致宣伝協議会などとも連携し、PR活動や観光客誘致に向けた取り組みに参画するとともに、国土交通省から広域観光周遊ルートとして認定を受けている「ひがし北海道ルート」や「きた北海道ルート」の結節点としての地理的条件を活かし

た企画を立案してまいりたいと考え  
ております。いずれにしても、外国  
人観光客のみならず、道内及び道外  
客の誘致を促進するためには本市だ  
けでの取り組みでは難しい面もあり  
ますので、周辺市町と連携した中で  
観光客誘致を進める取り組みは欠か  
せないものと考えております。

政風会



大鎌 光純 議員

芦別市における  
日本版DMOについて

質問

芦別市でのDMOの必  
要性について伺う。

答弁

まち・ひと・しごと創  
生総合戦略に掲げる交流  
人口の拡大策の一つである観光地域  
づくりを進め、まちの活性化と地域  
経済の活性化につなげていくための  
手法としては、DMOあるいは、同  
じような機能を果たす組織や推進体  
制が必要であると考えております。  
このため、現在の観光協会を一般  
社団法人化することで、市の観光部

門や市内産業、団体とも今まで以上  
に連携して、DMO機能の充実強化  
に努めてまいりたいと考えております。

質問

DMOの登録条件のク  
リアを目指すことによる

観光振興についての考えと日本版  
DMOの芦別市の登録について伺う。

答弁

登録条件は、今までの  
観光推進体制の中で経験  
していない事項や専門性が求められ  
る事項も多く、ハードルが非常に高  
いと感じております。

しかしながら、観光地域づくりを  
進め、交流人口の拡大による地域の  
活性化を実現していくためには、こ  
れらの登録条件をクリアすることを  
目指した取り組みが必要であると思  
えており、法人化後の観光協会と連  
携し、市としても取り組んでまいり  
たいと考えております。

また、日本版DMOへの登録につ  
きましては、今後の観光協会の動向  
や意向を確認しながら、検討してい  
くべき課題であると考えております。

解説・DMOとは

観光物件、自然、食、芸術、芸能  
風習、風俗など当該地域にある観光  
資源に精通し、地域と協同して観光  
地域作りを行う法人のことであり、  
観光庁が規定した日本版DMOは以

下の通り。『地域の「稼ぐ力」を引  
き出すとともに地域への誇りと愛着  
を醸成する「観光地経営」の視点に  
立った観光地域づくりの舵取り役と  
して、多様な関係者と協同しながら、  
明確なコンセプトに基づいた観光地  
域づくりを実現するための戦略を策  
定するとともに、戦  
略を着実に実施する  
ための調整機能を備  
えた法人』です。



新星クラブ



石川 洋一 議員

道の駅の集客について

質問

道の駅の施設案内板と  
寄贈されたパラソル設置  
について、また道の駅の交流につ  
いて伺う。

答弁

道の駅の案内板につ  
いては、案内板としての役  
割は低いものと考え撤去する予定で  
考えております。パラソルについて

は、支柱の強度を上げ設置できるよ  
うに進めて行く考えであります。ま  
た、今後の道の駅の交流については、  
にぎわい創出による集客と産地間交  
流を進めることで、本市の特産品の  
市外での販売につなげることを目的  
として開催したものであり、来年度  
以降も物産の交流を継続的に進める  
とともに、他の道の駅との交流拡大  
を模索しながら計画をしていきたい  
と考えております。

商業の振興について

質問

プレミアム商品券の補  
助金について、また、A  
カードをプリペイドカードとして発  
行し加盟店の増大を図ること、補  
助金をつけることにより加盟店を増  
やすことができないか伺う。

答弁

プレミアム商品券発行  
事業については、商工会  
議所が実施する事業であり意向を踏  
まえ、協議してまいります。また、  
Aカードの発行に関しては、芦別ポ  
イントカード協同組合が実施してお  
りますので、プリペイドカードの  
発行や加盟店の増大に向けた考え方  
などを含め、Aカード事業の今後の  
展開や方針について意見交換をして  
まいりたいと考えております。

地元企業のPRについて

質問

中学校の空き教室を使って地元企業のPR教室・高等教育のPR教室の設置について伺う。

答弁

地元企業や地場製品を紹介する展示室などに活用する方法などについては、地域について学ぶ機会の醸成やキャリア教育という観点から有効な手段であると考えるところであり、学習する場には心ざわしい活用方法について学校と協議してまいりたいと考えております。

新星クラブ



大橋 二郎 議員

移住施策について

質問

移住施策には移住者が主役となる仕組みが肝要と以前から提言しており、28年3月号の広報で移住者を紹介していただいていたことがありました。その後どうなったか伺う。

答弁

地域おこし協力隊として移住された方も同様にご紹介しました。今後も紹介できる事例があれば紹介いたします。

提案

移住者の窓口に「移住コーディネーター」というものがあります。移住希望者の要望や不安に答え、地域との繋がりを手助けしながら移住後もケアしてゆく専門職員です。各地で導入が進んでいる制度で、地域に精通した地元の人や移住経験者が適任であり、国からの財政支援もある制度です。本市においても是非導入していただきたい。

定住施策について

質問

定住施策は多種多様で、全庁的に取り組まなければならぬ課題と考えます。現在の取り組みと成果を伺う。

答弁

既存施策をベースに、新たに産業界育成住宅促進事業、婚活事業、不妊治療費助成事業に取り組み、ふるさと就職奨励金対象者の拡大や医療費無償化の対象年齢引き上げなどの制度拡充を行いました。成果は、企業振興促進事業では目標を達成しているが、全体としては十分な成果とは言い難いと認識しております。

提案

地域で起きている課題は多様であり、それを解決することにより定住に繋がるものも多いと考えます。それには役所的な区分で対応するのではなく、部課の垣根を超えた作業部会やプロジェクト単位での取り組みが必要と考えます。また、地域の課題解決には「定住支援員」が必ず必要になります。

「定住支援員」とは、地域の課題を行政に伝え、問題解決の施策を市民に浸透させる行政と住民の橋渡しの役割をする専門職員で、こちらも国からの財政支援を受けられるもので、各地で導入が進む中、地域の見守りとしての役割も期待される制度です。地域課題を解決することで、住み易いまちにしてゆくことは、必ず定住に有効な施策になると考えます。

創政会



田森 良隆 議員

行政改革について

質問

行財政改革の進捗状況について伺う。

答弁

進捗状況としては、11月にたたき台として示した「行財政運営と改革の基本方針」の素案と、実行計画となる「財政基盤強化集中改革プラン」のたたき台を年内にまとめる予定で、これを平成30年1月に示すのでご意見をいただきたいと思います。

質問

行財政改革で大切な事は歳入の確保。そこで「ふるさと納税」による歳入確保の考え方を要望したい。地元産品の返礼品で本市の財政が潤るおい、地元企業を応援し元氣になれば市全体の経済活性化に繋がる。市職員の対応には色々な制限や制約がある。そこで「ふるさと納税」をノウハウのある民間に委託してはどうか。市内業者や観光協会も一つの選択肢と工夫を考えを伺う。

答弁

近隣で民間に業務委託を行っている自治体があると聞いている。早急に調査をし、前向きに検討いたします。

スポーツ振興基金について

質問

この基金は昭和58年度に体育協会が1千万円を目標に創設し、市民からの寄附の協力により昭和60年に目標が達成し、各種市民のスポーツ振興に助成を始めたが、昭和62年度に民間団体にお

特別支援教育における  
音声教材の導入について



吉田 博子 議員

公明党

ける基金管理上の問題があり、市に移管されて以降、現在でも基金総額は1千万円を維持している。この基金は貯めるのが目的なのか、助成することが目的なのか。

スポーツの競技人口や子供の人口が減少している中であって、現在、少年団等7競技団体があるが、大会や合宿等に伴う経費として、バスター代値上げにより親や関係者の負担が多すぎる実態がある。そこでこの制度を幅広く活用できるように基準のハードルを下げるべきと思うが考えを伺う。

答弁

スポーツ振興基金を活用したスポーツ振興事業補助金は、芦別市体育協会からの要望に基づき、これまで要件等簡素化の見直しを図ってきたところですが、他の補助制度との整合性やバランスも踏まえて、体育協会関係者と意見交換を行うなどさまざまな角度から検討いたします。

質問

音声教材とは、発達障がい等により、通常の検定教科書で一般的に使用されている文字や図形等を認識することが困難な児童・生徒に向けた教材で、パソコンやタブレット等の端末を活用して学習する教材です。障がいを有する児童・生徒が十分な教育を受けられるよう音声教材を導入すべきと思うが考えを伺う。

答弁

特別な教育的支援を必要とする児童・生徒の能力、特性に応じた教育活動を推進する観点から、今後、必要に応じて導入を進めてまいりたいと考えております。

学校給食費の徴収のあり方について

質問

各学校が徴収業務を行っていることから、多忙な教職員の勤務時間の削減や負担軽減を少しでも図ることが必要であり、芦別市が徴収業務を担うことが適当であると思うが考えを伺う。

答弁

教職員の勤務時間の削減方策の一つとなる学校給食費徴収のあり方について、今後の文部科学省の考え方も踏まえながら慎重に検討してまいりたいと思います。

日本共産党



松井 邦男 議員

市の文書管理について

質問

森友・加計問題では又サンの文書管理が明らかとなりました。市における行政文書の記録と保存について伺う。

答弁

公文書管理と情報公開は車の両輪と認識し、市民の知る権利を保障し、市民への説明責任を果たすため、適切な文書管理と情報公開に努めます。

質問

多額の市費を投じた重要施策・事業を市民がいつでも検証できるように文書管理保存のシステムを伺う。

答弁

「(株)星の降る里芦別」や「(株)芦別振興公社」の経営状況などの文書は、重要で永年保存の必要があり、商工観光課で保存し、市民の閲覧には応じられる体制にあります。

カナディアンワールド公園について

質問

カナディアンワールド公園での露天掘り炭鉱開発に関わる試掘及び北電の奈井江火力発電所休止の影響を伺う。また、自衛隊による演習場以外の公的施設での訓練の常態化への考えを伺う。

答弁

芦別鉱業から、国への届出手続等から今年の試掘は断念し、来年から2年間かけて調査するとの連絡であるが、奈井江火力休止の影響は避けられない状況であります。また、自衛隊の公的施設での訓練の常態化については、現状応じる考えはありません。

介護保険について

質問

新年度からの介護保険事業では、国は生活援助利用回数制限や介護からの自立を数値化し、競わせることについての所見を伺う。(紙面の都合上、答弁は省略します。)

農業農政問題について

質問

国は、新年度からコメ減反協力農家への直接支払交付金を廃止、またコメ・麦など主要種子生産・普及の種子法廃止による農家への影響を伺う。

答弁

144戸の水田農家には総額9442万円の減少となり、また、種子法の廃止は、企業の種子独占により、種子の品質保持と安定供給体制の維持への直接的影響が懸念されます。

## 12月定例会の議決結果・議会報告会のお知らせ

第8回市議会（定例会）は、12月14日に招集され、会期を22日までの9日間と定め、平成29年度補正予算、条例改正・廃止、公の施設の指定管理者の指定などが審議されました。

### ■全員賛成の議案

議案	件名	結果	議案	件名	結果
補正予算	平成29年度後期高齢者医療特別会計	原案可決	その他	国設芦別スキー場の指定管理者の指定	原案可決
//	平成29年度市立芦別病院事業会計	原案可決	//	陶芸センターの指定管理者の指定	原案可決
条例改正	職員給与条例等	原案可決	//	緑地等管理中央センターの指定管理者の指定	原案可決
//	墓地条例	原案可決	//	オートキャンプ場の指定管理者の指定	原案可決
//	就学援助費支給条例	原案可決	//	市営住宅等の指定管理者の指定	原案可決
//	市営住宅等管理条例	原案可決	意見書	「新たな高校教育に関する指針」を抜本的に見直し、すべての子どもに豊かな学びを保障する高校教育を求める意見書	原案可決
//	在宅福祉サービス条例	原案可決		//	平成29年度以降「産地交付金」の満額交付などを求める意見書
//	ふるさと就職奨励金交付条例	原案可決	//	診療報酬を引き下げることなく、地域医療を守ることを求める意見書	原案可決
条例廃止	市税等の特定の滞納者に対する特別措置に関する条例	原案可決	//	介護保険の負担増及び介護抑制の導入中止を求める意見書	原案可決
その他	過疎地域自立促進市町村計画の変更	原案可決			

### ■賛否が分かれた議案

○：賛成、×：反対、△：退席、欠：欠席、/：採決なし、議：議長

議案	件名	結果	大橋	瀧	石川	大鎌	北村	樋坂	松井	吉田	小川	池田	田森	日沼
			二郎	仁美	洋一	光純	真	直紀	邦男	博子	政憲	勝利	良隆	昇光
補正予算	平成29年度一般会計	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
//	平成29年度国民健康保険特別会計	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
//	平成29年度介護保険事業特別会計	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議

## ▼▼ 議会報告会のお知らせ ～議員との懇談会～ ▼▼

芦別市議会では、市民の皆さんと議員が情報や意見を交換し、議会の活動や結果を広く知っていただくため、議会報告会を開催します。議会活動の状況について報告した後、「議員定数」をテーマに意見交換を行います。時間はおおむね1時間半程度を予定しています。どなたでも参加できますので、お気軽に会場へお越しください。

日 時	場 所	担 当 議 員
平成30年2月28日（水） 午後6時～7時30分	本町地区生活館	日沼昇光、吉田博子、田森良隆、瀧仁美、北村真、樋坂直紀
	啓南多目的研修センター	松井邦男、小川政憲、池田勝利、大鎌光純、石川洋一、大橋二郎
平成30年3月2日（金） 午後3時～4時30分	であえーる緑幸団地集会所	松井邦男、小川政憲、池田勝利、大鎌光純、石川洋一、大橋二郎
	上芦別多目的研修センター	日沼昇光、吉田博子、田森良隆、瀧仁美、北村真、樋坂直紀

# スターライトホテルは、いま。



平成29年4月1日より、スターライトホテルを中核とする芦別温泉施設群の指定管理者が、従来の㈱芦別振興公社から民間である北海道ホテル&リゾート(株)に変わりました。まもなく1年が経過しようとしていますが、どこが変わったのか、市民の皆様もお気付きかと思いますが、ここに列記いたします。

まず、星遊館の入口ですが、従来の入口を閉鎖し、ホテルからの出入りになりました。これにより、星遊館での受付業務が無くなりました。次に、露天風呂に目隠し板が設置されました。その板には、風流な詩が、これまた個性あふれる字体で描かれています。これらの詩は、星遊館ロビーの各所にも描かれており、思わず見入ってしまうほどです。

ロビー各所もゆつくりとくつろげるように大改修されました。無料のソフトラインクや読書コーナーの設置など、また、脱衣場には冷水器やドリンク用冷蔵庫も設置され、更には、ホテルの屋上には満天の星空を楽しんでいただくためにウッドデッキが設置されました。

その他、ホテル・国民宿舎内のリニューアル工事など、昨年の5月から12月までの間、改修等に要した総額は実に4千3百万円を超えるものであります。その金額が北海道ホテル&リゾート(株)の投資であり、市からの補助は一切ありません。民間企業の着眼点とアイディア、設備投資力に感謝と脱帽であります。利用者に更に愛される施設になるように管理していただきたいと思います。

います。

終わりに、12月に開催された社会産業常任委員会において、星遊館の大規模改修計画が市から示されました。築後29年を経過し老朽化した施設のリニューアルを図るもので平成30年10月から平成32年2月までの期間で行う計画です。この間、ホテル及び芦別温泉は通常営業しますが、星遊館は平成31年8月20日から12月20日までの4か月間休業となる予定とのことです。予算審議を経て事業が決定した際には、利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

(瀧 仁美)

## 議会の動き

平成29年11月上旬～平成30年1月中旬

- 【11月】
- 13日～14日 総務常任委員会 (所管事務調査)
- 15日～16日 社会産業常任委員会 (所管事務調査)
- 15日 ㈱芦別振興公社経営問題調査特別委員会
- 16日 議会運営委員会
- 17日 総務常任委員会
- 20日 地方自治法施行70周年記念式典及びシンポジウム(東京都)
- 21日 全国市議会議長会 建設運輸委員会正副委員長会議(東京都) 第160回建設運輸委員会(東京都) 正副委員長要望活動(東京都)
- 22日 国道452号建設促進中央要望(東京都)
- 【12月】
- 7日 議員会派代表者会議 議会運営委員会
- 14日～22日 第8回市議会(定例会)
- 19日 議員会派代表者会議
- 20日 総務常任委員会
- 21日 社会産業常任委員会 ㈱芦別振興公社経営問題調査特別委員会
- 22日 広報広聴委員会
- 【1月】
- 15日 社会産業常任委員会 議会改革特別委員会

## 3月定例会市議会のお知らせ

- 会期 3月8日(木)～26日(月)
- 日程 8日(木)本会議(議案の提案)、12日(月)本会議(代表質問) 13日(火)本会議(代表・一般質問) 14日(水)・15日(木)常任委員会 16日(金)・19日(月)・20日(火)・22日(木)・23日(金)予算審査特別委員会 26日(月)本会議(議案の議決)
- 開会時間 いずれも午前10時から
- ※日程・時間は、議会運営上変更する場合があります。

## 編集後記

新しい年を迎え、市議会議員の任期(4年)も残すところ1年少々となりました。

12月議会的一般質問には8人が立ち、市政の諸課題について質疑が交わされましたが、荻原市長就任から10ヶ月、ようやく市長が進めたい政策が一つ一つ見えてきており、既存施策に対する市長の考え方も明らかになってきましたので、より具体的な議論ができるようになりませんが、いまだ難しい政策課題が残されており、まだまだと言ったところであります。

一年前を振り返れば、今野前市長の辞職、新年度予算編成を目前にしての市長・市議補欠選挙の実施等までの過程は、議会も庁内も大変でありました。山積する市政の課題について、議論し推し進めていくことの大切さを改めて感じています。

(小川)

### 芦別市議会広報広聴委員会

- 委員長 小川政憲
- 副委員長 石川洋一
- 委員 池田勝利、大橋二朗、北村真
- 松井邦男、吉田博子